

あかり 平和を祈る、3000の燈火

3月1日（日）、ニッペパーク岡東中央で平和のキャンドルイベント

◎チラシ・写真あり

市は、小中学生らの平和へのメッセージが描かれたキャンドルなど約3000個に、来場者や大学生などが平和を願って火を灯す「枚方市平和の燈火（あかり）」を3月1日（日）、ニッペパーク岡東中央で開催する。雨天の場合は2日（月）に順延。「枚方市平和の日」記念事業の一つとして、若い世代を中心に戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えてもらうため、毎年3月に開催し、今年で15回目となる。市内外の大学生などによる実行委員会が企画・運営し、立体造形物の展示や来場者と作るペットボトルキャップアートのブース、弾き語り演奏、絵本の朗読などを実施予定。同実行委員長で関西外国語大学4年生の藤島凌雅さんは「平和とは何か、人それぞれ感じることは違うのではないか。だから一人一人が平和について考え、伝え合うことが大切。「平和の燈火」が考えるきっかけとなるようにしたい。」と開催に向けて思いを話す。

★3月1日は、市内にあった陸軍の禁野火薬庫が昭和14年（1939年）に大爆発を起こして約700人の死傷者を出した日であり、昭和29年（1954年）に太平洋のビキニ環礁で米軍が行った水爆実験に日本の漁船「第五福竜丸」が遭遇し、乗組員が被ばくした日でもある。市は平成元年（1989年）に3月1日を「枚方市平和の日」に制定し、毎年さまざまな平和事業に取り組んでいる。

★平和への願いが描かれたキャンドルは、平和をテーマとしたイラストやメッセージが描かれたクリアファイルをカップに巻き付けたもので、市立15小学校の5年生、市立5中学校の生徒、関西創価小学校3年生などが作成した。ほかにもミニチュアの街からキャンドルの灯りが漏れる、暖かい街を表現した立体造形物や、市内留守家庭児童会室の児童による手形アートを展示し、色とりどりのカラーカップキャンドルなども会場を彩る。



▲平和への願いが描かれたキャンドル



▲来場者と実行委員たちがキャンドルに火を灯し、会場を彩ります。



▲会場の様子（前回）



▲立体造形物の展示（前回）

★当日午後3時～5時には、実行委員の大学生などが企画・運営するブースを出展。

●当日イベントブース 平和に関するパネル展示、参加者で作るペットボトルキャップアートの作成、ペットボトルキャップの回収などを実施。回収したペットボトルキャップは、発展途上国の子どもたちのワクチン接種のためにNPOなどへ寄付をする。

●VR体験ブース 広島市から借り受けたVRゴーグルで、原爆被害などを疑似体験できるコーナーを設置

★当日午後5時30分からは、伏見市長・谷元教育長・実行委員の大学生による点灯式を開催。また、舞台出演者による弾き語り演奏を実施予定。

★2月27日（金）には、平和の燈火プレ事業として、市内の留守家庭児童会室の児童による平和をテーマにした手形アートを制作予定。作品は平和の燈火当日に会場内に展示・紹介する。

<問い合わせ>

市長公室 人権政策課 ☎:072-841-1259、FAX:072-841-1700

へ い わ あ か り
平和の燈火

れいわ
令和8年3月1日(日)

午後3時～7時30分(雨の場合は2日(月)に延期)

えんき
おかひがしちゅうおう

ニッペパーク岡東中央

けいはんでんしゃ えき とほ しやくしょとなり
(京阪電車「枚方市駅」下車、徒歩5分 枚方市役所隣)

枚方市には、かつて戦争で使う兵器をつくる工場が3つあり、
約3万人がそこで働いていました。1939年(昭和14年)3月1日、
禁野火薬庫が大爆発し、およそ700人もの人が亡くなったり、怪
我をしたりしました。

枚方市ではこの大きな事故をいつまでも忘れず、みんなが平和
の大切さを考える日にしようと、3月1日を「枚方市平和の日」と
決めました。

<プログラム>

- 午後3時～5時 メッセージツリーや
ペットボトルキャップアートの作成
VRによる原爆被害などの体験
- 午後5時30分～ キャンドル点灯式(手話通訳あり)
弾き語り演奏、絵本の朗読
- ※ペットボトルキャップ回収(ワクチン接種費用支援、
ペットボトルキャップアート作成に使用)をします。

しゅさい へいわ あかりじつこういいんかい きょういくいいんかい
<主催> 枚方市平和の燈火実行委員会、枚方市、枚方市教育委員会

といあわ じんけんせいさくか
<問合せ> 枚方市 人権政策課 TEL 072-841-1259
FAX 072-841-1700



ホームページ



Instagram



X(旧Twitter)

高校生・大学生、^{へいわ}平和への^{おも}思い。

半年間、実行委員一人一人が「平和とは何か」を考えながら、当日に向けて取り組んできました。この平和の燈火が多くの方に平和の大切さを感じてもらえる機会になれば幸いです。

^{じっごういん}実行委員の^と取り組み

I. ^{じぎょう}プレ事業

私たちは、小学生と一緒に戦争と平和を学び、平和をテーマにした絵を手形で描くことで、平和を願う心を形にします。会場内に作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

II. ^{とうじつ}当日ブース

想いをつなぐメッセージツリーとペットボトルキャップアートを行います。作品を通じて平和について考え、話しあえる場となれば幸いです。なお当日はペットボトルキャップの回収を行います。

III. ^{そうしよく}公園装飾

ミニチュアのまちからキャンドルのあかりがもれる、あたたかいまちを表現します。安心できる家があることの大切さを感じてもらえればと思います。

IV. ^{ぶたい}舞台

当日はキャンドルのあかりや会場の雰囲気を感じながらひき語りの演奏をおきください。また、平和に関する絵本の朗読も行います。

^{かそうげんじつ}VR（仮想現実）による^{げんぱくひがい}原爆被害などの^{たいけん}体験

広島市からVRゴーグルを借りて、原爆がおとされた時の悲惨さや、いまの広島市の様子を体験できるコーナーを作ります。

※かかる時間：10分ほど（映像は5分ほど）